
夏の長期旅行

黒猫 訃桜

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

夏の長期旅行

【Nコード】

N6901I

【作者名】

黒猫 訃桜

【あらすじ】

嘘のような本当の話・・・

私はカブトムシが好きで何年かに一度育成する事がある。

しかも大きく育てようとし色々工夫をしながらやっている・・・私の趣味である。

だが・・・困った事になってしまった。

それは1週間ほど海外旅行に行く事である。

結論を先に言おう・・・妻は非常に昆虫が嫌いなのだ・・・ゴキブリ、ムカデ、蛾、蜘蛛、色々居るがどれも大嫌いだ。

季節は夏・・・私は息子と共に海外へ1週間ほど旅行に行く事になった。

妻は用事があるので留守番なのだが、同じ時期にカブトムシ育成の集大成の時期なのである。

そう！一生懸命育ててきたカブトムシがサナギから孵り地上に出てくるのだ！

羽が乾燥していない状態では羽の部分が真っ白でとても綺麗である。見たい！その瞬間をどうしても見たかったが家族サービスという宿命からは逃げられそうにない・・・

しかし・・・大きく育ったカブトムシとは男の憧れであり浪漫である！！

見ているだけで吐息が漏れオス同士のケンカには熱く興奮する！

ああ・・・！私はこれを見るために必死で育ててきたのだ・・・！！

恐らく海外旅行から帰ってくる頃にはたくさんのカブトムシが私を迎えてくれるだろう・・・

雄々しく！格好よく！そしてあの逞しい角を惜しげもなく私に見せてくれるだろう！

楽しみだ・・・楽しみでしょうがない・・・！！

だが！！！！！！！！

それは1週間の間に成虫になったカブトムシを「誰か」が世話をしてくれた場合である！

つまり・・・妻が面倒を見てくれなければ私の育てたカブトムシは・・・下手をすれば全滅をしてしまうかもしれない・・・

そこで私は考えた・・・必死に考えた・・・どうしたら昆虫嫌いの妻がカブトムシの世話としてくれるだろうか・・・

バッグで釣るか？財布でつるか？服で釣るか？アクセサリーで釣るか？

色々考えたが結局の所、妻は真剣に世話をしてくれないだろう・・・

その時ひらめいたのだ！これなら妻は真剣にカブトムシを世話してくれるという確信のある方法を！！

その日の晩、息子にはあらかじめ話しておき私は妻に話した。

私「海外旅行に行っている間のカブトムシの世話なんだが・・・」

妻「私がああいうの嫌いだって知ってるでしょ・・・？」

私「ま・・・まあ知ってはいるんだが・・・私も一所懸命育てた大

切な・・・」

妻「あんなゴキブリから角が生えた様な奴の世話なんて真つ平ごめんだわ！」

そう・・・ここまでは私の計算通り・・・息子がチラッと私を見て笑い私も笑みで返した

私「そうそう・・・だからお前の為にカブトムシを育てたんだぞ？」
妻「どういうこと・・・？」

私「実はな・・・カブトムシって言うのはゴキブリの天敵なんだよ・・・」

妻「え・・・本当!？」

私「ああ・・・本当さ・・・だから今年は一匹も見えていないだろう？」

妻「え・・・ええ・・・確かに今年は一匹も・・・」

妻に内緒で高いゴキブリダンゴを部屋の隅等に置いておいたのでそれが効いていると思っている

私「そーら言った通りだろう？私がカブトムシを育てたからゴキブリが居なくなったのさ

だが・・・流石に一週間も放って置かれたらカブトムシも死んでしまうかも知れん・・・」

妻「!・・・じゃ・・・じゃあどうしたらいいの・・・？」

私「ああ・・・ここにメモをしておいたからこれだけやっておいて貰えばいいよ」

妻「分ったわ!やっておくからね!」

作戦大成功!!!!!!

そして私と息子は笑顔で海外旅行に行ったのであった・・・

後日

妻「あなた！いい事教えてくれたわね！もう近所のスーパーで色々話してきたのよ？」

私「いい事・・・？」

妻「カブトムシの事よ！もう近所の奥さん達も知らなくてね・・・

みんなも育てようかしらって言うてたのよ！」

私「・・・・・・・・・・・・・・・・すまん・・・それ嘘・・・・・・・・」

この後、妻からは鬼の形相で怒られ、お小遣いは半額に、弁当は作ってもらえず、

大事に育てたカブトムシは息子の友達に全部引き取られていきました・・・・・・・・

休みの日にこっそりとスーパーのカブトムシを買ってこようとしたら「現在売切れております。入荷をお待ちください」というお知らせが売り場に

貼られていました・・・・・・・・（ノド、）・・・・・・・・

（後書き）

はじめまして、黒猫といいます。

ちよっとした昔話を題材に書いてみましたゝ

気が向けばアニメの2次でも作ってみようと思いますので（更新は超不定期）

まあ感想を書いてもらえればいいかなあって思ってます（*・ω・）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6901i/>

夏の長期旅行

2010年10月10日18時26分発行